

Governor's Monthly Letter

2025

4

April

ガバナー月信

vol.10





4月号 今月の表紙 大手門

戦国時代末期、世の中が不安定だった1597年、生駒親正の時代に築城の始まった丸亀城、元々の大手は今と反対の南側にあったことをご存知だろうか？

お城というのは元来、戦のための要塞・基地なので、敵の襲来に備えて様々な工夫がされている。守りを固める大手門も当然敵の襲来する方向を意識して設けられるのだ。築城当時は土佐の長宗我部氏が四国統一を目指した活発な動きがあり、その襲来に備えるため、そして讃岐平野にひろがる領土を見渡すため、南側に大手があったと考えられる。しかしその後、時代は安定した江戸の世となり、文治政治への転換がはかられていた1670年(寛文10年)京極高豊によって現在の位置に大手門が移された。丸亀城は戦のための要塞から海運が発展した時代のランドマーク、地域繁栄のシンボルへと変貌を遂げたのである。以降、丸亀城は平和の象徴として市民に親しまれている。

(月信担当幹事 塩田 等)

Contents

ガバナーあいさつ	ガバナー 夏見 良宏	3
水と衛生月間 リソースのご案内		5
[地区だより] 国際ロータリー 青少年交換プログラム 2024-2025年度 中四国3地区合同オリエンテーション		9
[地区だより] PETS・DTTS開催報告		10
[クラブだより] 高松南RC 首里に鎌倉芳太郎顕彰碑建立		11
2月度 出席報告		12
受賞者一覧・物故会員		13

Governor's Message

環境月間



国際ロータリー第2670地区 2024-2025年度 ガバナー 夏見 良宏 (丸亀RC)

寒さも和らぎ、ようやく暖かな春の季節がやってまいりました。皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか。4月25日、26日は地区大会です。皆様にお会いできるのをとても楽しみにしています。

さて、3月にはPETS・DTTS、地区研修協議会も終わり、いよいよ次年度の準備が始まりました。

国際ロータリーのマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ会長エレクトは、成長、奉仕、つながりを大切にして「よいことのために手を取りあおう」と会員に呼びかけました。これを受けて織田地区ガバナーエレクトは「地域密着のロータリーを目指そう」をテーマに掲げ、次年度への熱い思いを語られました。会員皆様におかれましては、引き続き次年度へのご協力を心よりお願い申し上げます。さて、

4月はロータリーの「環境月間(Environment Month)」です。これは、2022年RI理事会で決められた重点分野の1つで、天然資源の保全と保護を強化し、環境の持続可能性を高め、人と環境との調和を促す活動を支援することを目的としています。7つの重点分野にはそれぞれ特別月間があり、2024-2025年度ロータリーの特別月間では、7月は「母子の健康」、9月は「基本的教育と識字率向上」、10月「地域社会の経済発展」、12月「疾病予防と治療」、2月「平和構築と紛争予防」、3月「水と衛生」、そして4月が「環境月間」です。そこで、今回は環境問題について考えてみたいと思います。

環境問題(Environmental Problems)

地球温暖化や、海洋汚染、生物多様性の消失など、人間の活動によって、地球環境に変化が生じた結果、今、地球上には様々な問題が起きています。環境問題の改善は地球を守り次世代に残すという観点で非常に重要です。特に平和と環境は次世代に残すべき最たるものです。

環境問題は多岐にわたりますが、今回は、地球温暖化に伴う問題の一つ「海面上昇」について考えてみたいと思います。海面上昇が問題なのは、海拔が上がることで、海に沈む国があるということ。そして、それは、そこに住む人々の家も海に沈むということです。しかし、問題はそれだけではありません。

実際にツバル諸国は海面上昇の影響を非常に大きく受けている国の1つで、温暖化による「沈みゆく国」として知られています。しかし、影響を受けるのはツバルだけではなく、モルディブやイタリアのベネチアも海に沈むのではと言われていましたし、インドネシアの首都ジャカルタも2050年頃に海に沈むと言われていました。街が海に沈むこと自体大問題なのですが、人の住む場所がなくなり、結果、「気候難民」が発生することが現実の大きな問題なのです。すでに気候難民の数は、年間で200万人発生しており、このままでは2050年には10億人に達するとも言われています。

国連大学水・環境・保健研究所(UNU-INWEH)による新たな報告書『Water and Migration: A Global Overview(水と移住：包括的概観)』では、水と移住の相関関係に関する知見を提供し、既存の問題の隔たりやニーズにどう取り組むべきかについてレポートしています。

- 2050年までに10億人が、水や気候関連の問題、そして紛争が重なることにより、自らの意志ではなくやむを得ない選択として移動を強いられることになる。
- 農村部から都市部への移住という大きな傾向から、気候変動や水危機と移住との関係性がさらにはっきりと見られるようになった。
- 移住を規制しなければ、持続可能でない無計画な居住地と都市化が急速に進み、そうした場所で水需要が高まるだけでなく、移民、そして受け入れ国や地域にとっても健康リスクと負担が増大する恐れがある。
- 移住は、気候変動への適応や水利権に関わる制度上の不平等や社会的正義の問題を反映している。水へのアクセスが難しかったり、水質が悪かったり、水関連の異常事態の影響を受けた人々に対する支援が不十分であれば、人類の持続可能な未来にとって障壁となる。

このように、海面上昇に伴う気候難民問題ひとつとっても、環境問題は水問題はじめ健康や治安など多くの問題と関わっています。

私たちは環境の大切さや環境問題が人類共通の大きな問題であることは理解していますが、あまりに大きな問題のためそこから目を背けているように感じます。まずは、ひとりひとりが意識することが大切です。そしてそのうえで、自分たちができることをコツコツと取り組み、少しずつ社会を変えていくことが環境問題の改善につながるのではないのでしょうか。可能性を信じ行動しなければ地球が沈むという危機感が大切なのです。



水と衛生月間 リソースのご案内

(Water, Sanitation and Hygiene Month)

2025年2月28日

タイトルにリンクが設定されていますのでクリックしてリンク先をご参照ください。

RIページ

水と衛生

安全な水と衛生設備の利用は、すべての人がもつべき権利。なのに、汚染水で病気になる人や命を落とす人が後を絶ちません。未来を担うはずの子どもたちは、水汲みなどの労働によって学校に通えず、つらい境遇を強いられています。

奉仕プロジェクトセンター

奉仕プロジェクトセンター(旧ロータリーショーケース)では、ロータリークラブや地区が実施した様々な活動や計画中のプロジェクトの情報を掲載・閲覧することができます。

ロータリー行動グループ

ロータリー行動グループは、クラブが地域社会を強化するための持続可能かつ効果的な奉仕プロジェクトを立案するのを支援します。プロジェクトの計画と実施に関してクラブに助言を与え、パートナーや資金、リソースを探す手助けをしてくれます。

パートナー

より効果的で持続可能性の高いプロジェクトを計画するため、ロータリーのパートナーとクラブが協力することができます。このページではロータリーのパートナーとなっている団体を紹介しています。

ラーニングセンター

本月間に関連するコースもございますので、詳細は[ラーニングセンターコース一覧](#)をご確認ください。

各種資料

印刷物の販売、取り扱いは終了となっておりますので、電子ファイルをご活用ください。

ロータリーの重点分野

各重点分野のプロジェクト計画に関するヒントをご紹介します。

当分野でのグローバル補助金プロジェクトをお考えの方へ

- [重点分野の基本方針](#)
- [「水と衛生」グローバル補助金 授与のガイドライン](#)

ウェブ特集記事

安全な水を世界に届けたい

私たち秦野中ロータリークラブが活動する神奈川県秦野市は、名水の里とも言われる山に囲まれた自然豊かな町です。潤沢で美味しい水があふれ、その恩恵を受けて今を生きています。こうした私たちだからこそ水の大切さを改めて認識でき、「安全な水を届けること」をミッションに掲げて活動しています。

(2025年1月、ロータリーボイスより)

Partners for Water Access and Better Harvests in India(インドにおける水へのアクセスとより良い収穫のためのパートナー)

持続可能な農業と水管理の実践を通じて、インドの4州にわたって6万人以上の農民の生活を改善することを目的とした、証拠に基づく5年間のプログラムです。農民は、点滴灌漑、層別作付け、果樹栽培など、レジリエンス(回復力)のある農業の知識とスキルを習得します。また、砂防ダムや溜池などの雨水利用システムによって農業用の地下水を40%増やし、作物の収量と生産性の向上に取り組みます。

結果 [インドにおける水へのアクセスとより良い収穫のためのパートナー 変革理論](#)

安全な水をめざしてグローバルパートナーシップの夢を実現

ロータリーと[国連環境計画\(UNEP\)](#)は今年、UNEPの技術的な専門知識を借りてロータリー会員が地元の淡水資源の保護・回復・維持に取り組むことを可能にする合同イニシアチブの発足を発表しました。

(2024年9月、ニュース・特集記事ページより)

井戸の価値

ムセキワとムシャキの住民に限らず、ジンバブエでは水を当たり前にあるものとして使う人はいません。首都ハラレから約160キロに位置するこの二つの村は、水不足による大きな影響を受けています。つい最近まで、多くの住民は毎日5キロ以上歩いて水を汲みに行っていました。

(2024年3月、ニュース・特集記事ページより)

水の科学を人助けに役立てるエンジニア

ベネズエラの首都カラカスで育ったイシス・メヒアスさんは、都会に住んでいながら自分や近所の人たちが定期的に水を利用できないこと、また、水が利用できてもそれが原因で下痢やほかの病気になる人がいることが納得できませんでした。

(2024年3月、ニュース・特集記事ページより)

水路に焦点を置いた、ロータリーと国連のパートナーシップ

[Community Action for Fresh Water](#)(淡水のための地域活動)と名付けられたこのプログラムでは、クラブが河川清掃の日を設け、健全な水路の重要性について地域社会の認識を高め、基本的な水質検査を実施し、その結果を報告することを奨励します。

(2024年1月、ニュース・特集記事ページより)

関連リンク：[淡水保全のためのコミュニティアクション -- よくある質問 - Rotary and UNEP](#)

大胆な活動が南アフリカの学校を変える

パートナーシップの構築には時間がかかることもありますが、その成果は目を見張るものがあります。南アフリカと米国の二つのロータリークラブは、ジャクソンホールの病院で働いていたある人物の行動がなければ、パートナーになることはなかったかもしれません。このパートナーシップがもたらした成果は非常に大きく、南アフリカの11の学校で54万米ドルをかけた施設の大改修が行われ、これによって毎年7,200人以上の生徒が恩恵を受けています。

(2023年12月、ニュース・特集記事ページより)

安全な水とワクチン投与を通じてパキスタンでのポリオ根絶を目指す

パキスタンでは、地域によって劣悪な衛生状態が続いており、正式な医療サービスがなく、飲料水も不足しています。水を媒介とする伝染病の多くは、不潔で汚染された水を介して伝染し、人びとの生命を脅かしています。

(2023年11月、ロータリーボイスより)

ネパール先住民居住区での持続可能な農村開発

ある日、友人になった村人から自宅に招かれ、チア(お茶)をご馳走になっていると、友人の娘が大きな水がめを抱えて帰って来ました。学校へ行かないのかとラメッシュさんが聞くと、3年生までは通ったけれど、今は毎日谷底まで往復3時間かけて水汲みに行っていると言います。何とかしてあげたいと思ったラメッシュさんがクラブの仲間に相談すると、会員たちは、チプチプ村に飲料水の設備を設置することに賛同し、グローバル補助金を活用したプロジェクトを実施したいと考えました。

(2023年11月、ロータリーボイスより)

小さなクラブが実現させた大規模な水プロジェクト

アンデス山脈の高地にある先住民コミュニティは、10年以上もの間、安全な飲み水を待ち望んでいました。地元の水道局と協力して計画を立てたものの、実行に移すための資金がありませんでした。そんな折、初めてグローバル補助金を申請することに関心を寄せている新しいロータリークラブと出会いました。

(2023年7月、ニュース・特集記事ページより)

分断された国民がロータリーの水プロジェクトでつながる

とあるレバノン北部の学校で、生徒たちが水道の蛇口から水を飲み、洗面台で手を洗うために列を作っています。水の多くを供給する雪化粧の山々からそう遠くはありませんが、かつてこの地の生徒たちにとって、それは稀で贅沢なことでした。

(2023年2月、ニュース・特集記事ページより)

トイレは命を救う

きれいで安全なトイレを使えるのは日本では普通のことですが、世界にはトイレが使えずに屋外で排泄する人が数百万人おり、それが原因となって感染症で毎日何千人もの子どもが命を落としています。毎年11月19日、国連によって定められた「世界トイレの日」には、トイレの大切さを認識し、安全な衛生設備が使えない数十億もの人びとに関する理解を深め、行動を起こすことが呼びかけられています。

(2022年11月、ロータリーボイスより)

アカ族の人たちにトイレを

私たち原町中央ロータリークラブ(福島県南相馬市)では、2020年よりタイ北部の少数民族アカ族のためにトイレを設置する活動を行っています。(2022年3月、ロータリーボイスより)

Rotary ニュース・特集記事ページ



Rotary Voiceページ (日本語)



映像資料

Reエクアドル：安全な水プロジェクト(1：1)

ロータリー財団のグローバル補助金第GG2126592号の支援を受け、エクアドルのポリバルにあるグアランダ・ロータリークラブの会員は、ヴェルバート・ロータリークラブ(ドイツ)と協力し、コチャンパンバの住民に安全な水を提供するための水システムを支援しました。 [日本語字幕、50秒]

ジャック・シム(世界トイレ機関、創設者兼ディレクター)

World Toilet Organization(世界トイレ機関)の創設者兼ディレクターで、シンガポール・ロータリークラブ会員でもあるジャック・シムさんが、安全な水と衛生のために世界各地で活動するロータリー会員を称えました。 [日本語、13分33秒]

Rotary Provides Water, Sanitation and Hygiene

安全な水と衛生設備をより多くの人々に提供するために、ロータリーが地元でどのような支援を行っているかを紹介しています。 [日本語字幕、1分39秒]

安全な水と衛生設備へのアクセスを生むために

安全な水と衛生設備が利用できるようになれば、水を介した伝染病が減り、子どもたちが元気に学校に通い、母親たちが水運びに時間を費やさずに家族の世話をすることができます。 [日本語字幕、36秒]

A New Plan for Clean Water in Haiti

最初の15年間は配置中の地域社会に井戸や手動式ポンプを設置しました。

苦戦する中で当時のベストプラクティスは地域社会の動員でした。

[日本語字幕、2分01秒]

Rotary YouTubeページ



利用規約



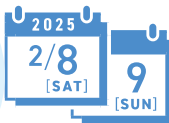
国際ロータリー日本事務局 業務推進室

108-0073 東京都港区三田1丁目4-28 三田国際ビル24F

Tel : 03-5439-5802 Fax : 03-5439-0405 Email : rjpnpi@rotary.org

地区だより

国際奉仕委員会
長期交換小委員会
長期交換事業



国際ロータリー 青少年交換プログラム 2024-2025年度 中四国3地区合同オリエンテーション

国際奉仕委員会
長期交換小委員会 委員 **二宮 邦江** (高知ロイヤルRC)

2025年2月8日9日両日に「中四国3地区合同オリエンテーション」が岡山県の児島において開催されました。日本中がこの冬一番の大寒波に覆われた中、雪による道路通行止めで残念ながら2690地区からの5名が参加できませんでしたが2710地区2690地区2670地区の3地区から総勢38名の参加で行われました。

初日の開会式では大変ご多忙な中で夏見ガバナーがお越しくださり英語も交えた歓迎と激励のご挨拶をいただき、その後各地区からもご挨拶と参加者紹介など行われました。

続いて瀬野長期交換委員長によるオリエンテーションに入り「この事業の目的」「その達成のために何が必要か」「それらを達成するために足りないものは何か」。それらを各生徒一人一人に向き合い各自が発表するなど真剣な討論が行われました。



続いて2室に分かれ、OBS予定者には瀬野委員長からロータリーへの理解や4Dルールの禁止など具体的な説明、IBSとROTEXには七條委員から英語で日本の文化を深める講義と翌日のエクスカージョンの説明がなされました。

初日夜は恒例となっている生徒達のエンターテインメントショーです。各自が様々な趣向で自身をアピールするという課題を与えられています。それらは交換学生としてはもちろん必要なことですが、社会に出ても自身を主張するというスキルを学ぶ第一歩だと考えられます。全員大変緊張していましたが



バトン部の生徒がバトンを振って技を披露したり、ダンスが得意な生徒が踊ったり、歌う者、弓道や柔術の披露、中にはバク転披露なども。見る方も感動と笑いの渦につつまれました。

2日目はOBS予定者とロータリアンには鬼丸昌也先生のオリエンテーションです。鬼丸昌也先生は特定非営利活動法人テラ・ルネッサンス創始者で「すべての生命が安心して生活できる社会の実現」を目指し、そのためには先ず「伝える」ことから、永年にわたり活動を続けておられます。この合同オリエンテーションにおきましても、2010年から継続して講師を務めてくださっています。



先ず先生のご経験から世界の紛争地域の状況、例えば「カンボジアで地雷を全て撤去する為には今後600年を要する」ことや、「8歳の子どもが少年兵とされている悲惨さ」、そしてそれらへの自身を含めて団体に支援してきた内容をお話いただきました。又それらを達成するためには「伝えること」の重要性やその方法を講義していただきました。他にもロータリーの起源や経歴など多岐にわたる内容でしたが、大変分かりやすく私達にとっても勉強になりました。一方IBS・ROTEXは鷲羽山ハイランドでのエクスカージョンを楽しみました。

私はこの「平和のための親善大使を育てる」という目的の長期交換事業に約3年間携り、様々なことを学ばせていただきました。瀬野委員長はじめ関係者の皆様ありがとうございました。



地区だより

2025
3/2
[SUN]

PETS・DTTS開催報告

PETS・DTTS 実行委員会 委員長 原田 秀一（高知南RC）

国際ロータリー第2670地区 織田英正ガバナーエレクト(GE)主催のPETS(会長エレクト研修セミナー)・DTTS(地区チーム研修セミナー)が、2025年3月2日ザクラウンパレス新阪急高知において開催されました。

PETS・DTTSに先立ち、午前中には、朝早くからパストガバナー、ガバナー補佐などの役員の皆様にお集まりいただき「ガバナー補佐研修会(引継式)」、「財務委員会・長期戦略委員会」、「諮問委員会」が執り行われました。

第1部PETS・DTTS合同セミナーは、13時30分、夏見良宏ガバナーの点鐘とご挨拶からセミナーが始まりました。

はじめに東邦彦次期地区研修リーダーより「クラブ会長の役割、地区チームの役割」についてご講義がありました。

続いて、織田GEより「次期RIテーマと地区運営方針」についての説明がありました。特に、カマルゴRI会長メッセージ「よいことのために手を取りあおう」の紹介の中で、「ロータリーの最大の財産は、その歴史でも、プロジェクトでも、比類のない世界的広がりでもありません。それは会員です。」

という言葉が印象的でした。その後、織田GEの方針である「地域密着のロータリーを目指そう」の説明が行なわれました。

第2部PETSでは、各クラブの会長エレクトの皆様に向けて、織田GEより「次期RIテーマとクラブ運営について」説明がありました。特に、会員の維持・増強に重点が置かれました。その後、「公式訪問」、「ガバナー月信」、「次期予算案」について、各担当地区幹事、担当より説明が行われました。最後に、現・次期ガバナー補佐と会長エレクトの懇談会が各分区ごとに実施され、協力関係を築く貴重な機会となりました。

第2部DTTS部門別セミナーでは、「国際奉仕」、「青少年奉仕」、「ロータリー財団」、「米山記念奨学」、「ロータリー公共イメージ向上DEI」の5委員会に分かれ、次年度の活動方針が活発な議論が行われました。

本日のセミナーが、次年度のクラブ活動、及び地区研修協議会の準備に向け、非常に意義深い時間となりました。今後も引き続き、地区内の連携を深めながら、よりよいロータリー活動の実現を目指してまいります。



地区ホームページの「ダウンロード」欄「Rotary Members Only」に、PETS・DTTSの会議資料を掲載しております。ぜひ、ご覧ください。



クラブだより

高松南RC

首里に鎌倉芳太郎顕彰碑建立

国際ロータリー 第2670地区 豊田 章二
2008-2009年度 ガバナー

首里に鎌倉芳太郎顕彰碑がついに建立され、三木町の顕彰碑と相並び建ちました。うれしくまたお世話いただいた皆様に感謝申し上げます。首里の碑は香川の庵治石、台座は沖縄の石、鎌倉芳太郎の生涯の全てといえます。

私は30年前に初めて沖縄へ行きました。後に鎌倉芳太郎を詳しく知り、私自身建築を学んだ者として芳太郎と同じく「まばゆいばかりの色彩の沖縄の風物にすっかり心を奪われた」のです。以来30回余りにわたり訪問を重ね、行く度に新しい発見、忘れられない出会いを経験しました。もっともっと知りたくなり、そして那覇南ロータリークラブの人達はじめ多数の知人、友人の輪ができ、「人との出会い」が拡がりました。私達には感謝の言葉のみです。この後は沖縄と香川の絆を育て、交流を深めてゆきたいと願っております。

ここ、首里城の見える所に鎌倉芳太郎の碑が建立されました。首里城のより完全なる復元へ大きな力となると信じています。



2月度 出席報告

分区	クラブ名	出席率 (%)	2月末 会員数	首比増減	2月末 女性会員数	例会数
高知第Ⅰ分区 7RC	安芸	82.43	20	0	3	4
	中芸	91.18	12	0	0	3
	香長	93.10	10	0	0	3
	高知中央	69.93	47	1	1	4
	高知東	100.00	54	-2	6	4
	高知南	85.04	86	2	13	3
	高知ロイヤル	94.87	22	0	3	2
高知第Ⅱ分区 8RC	高知	84.62	85	0	10	2
	高知西	84.31	75	3	3	4
	高知北	80.00	36	2	3	2
	中村	87.84	58	-1	7	3
	四万十	79.31	10	-2	1	3
	仁淀	79.17	13	-1	2	2
	宿毛	68.27	29	0	2	4
須崎	68.75	16	1	0	2	

分区	クラブ名	出席率 (%)	2月末 会員数	首比増減	2月末 女性会員数	例会数
愛媛第Ⅰ分区 9RC	今治	100.00	49	0	2	2
	今治北	82.93	21	0	1	2
	今治南	100.00	66	2	0	3
	伊予三島	92.47	31	-2	1	3
	川之江	93.20	49	3	0	3
	新居浜	100.00	66	-2	2	4
	新居浜南	64.29	18	0	3	3
愛媛第Ⅱ分区 10RC	西条	100.00	28	1	1	2
	東予	98.68	28	1	2	3
	伊予	77.34	32	2	1	4
	道後	79.55	30	0	1	3
	松山	70.37	70	4	9	3
	松山東	74.63	24	2	0	3
	松山北	89.16	27	-2	2	3
	松山南	88.00	50	-1	5	3
	松山西	87.50	20	-1	2	3
	大洲	75.00	28	-1	2	2
宇和島	83.33	17	-1	2	2	
八幡浜	75.00	22	1	1	3	

分区	クラブ名	出席率 (%)	2月末 会員数	首比増減	2月末 女性会員数	例会数
徳島第Ⅰ分区 10RC	徳島	86.85	80	3	4	4
	徳島東	63.10	52	0	2	2
	徳島北	67.44	29	-1	7	3
	徳島プリンス	87.50	72	2	11	4
	阿南	56.95	52	2	3	3
	阿南南	81.40	45	0	0	4
	小松島	86.76	17	0	0	4
	小松島南	51.39	18	1	0	4
	阿南中央	42.86	17	0	3	3
	徳島眉山	66.67	9	-2	1	3
徳島第Ⅱ分区 11RC	阿波池田	81.30	41	0	1	3
	御所	92.38	27	0	5	4
	鴨島	91.04	46	1	5	3
	鳴門	73.05	48	2	5	3
	鳴門中央	84.88	35	0	2	3
	徳島中央	73.08	26	-1	5	4
	徳島南	67.30	39	3	3	4
	徳島西	81.43	36	2	4	2
	脇町	84.68	37	-1	2	3
	阿波徳島	37.50	16	-1	1	2
美馬	67.90	27	0	4	3	

分区	クラブ名	出席率 (%)	2月末 会員数	首比増減	2月末 女性会員数	例会数
香川第Ⅰ分区 10RC	さぬき	64.06	17	0	0	4
	東かがわ	91.75	25	0	3	4
	小豆島	91.01	31	-1	2	3
	高松	100.00	82	-1	9	4
	高松中央	89.47	34	2	0	4
	高松グリーン	88.68	36	1	5	3
	高松東	100.00	49	2	5	2
	高松北	86.96	80	-1	7	3
	高松西	87.65	41	3	2	2
	高松南	69.07	60	2	3	3
香川第Ⅱ分区 8RC	観音寺	93.41	41	-4	4	4
	観音寺東	82.61	25	-2	2	3
	琴平	90.91	11	2	0	4
	丸亀	74.42	47	-1	3	3
	丸亀東	54.17	41	-2	3	3
	坂出	96.71	39	1	2	4
	坂出東	90.00	67	0	10	2
善通寺	85.19	39	3	0	4	

	出席率 (%)	2月末 会員数	首比増減	2月末 女性会員数
73RC合計	81.39	2,783	23	219

受賞者一覧

ポール・ハリス・フェロー



東谷 尚登
美馬RC

米山功労者
メジャードナー



小野山 敬一
高知西RC

マルチプル
米山功労者



尾崎 元晴
高知西RC

米山功労者



廣岡 公利
美馬RC

物故会員



ご冥福をお祈り
申し上げます

林 榮
徳島南RC

2025年2月22日ご逝去
享年91歳



Information

ガバナー事務所から情報配信いたします

是非、ご登録いただきますようお願いいたします。



ガバナー月信編集委員会からのお知らせ

ガバナー月信はネット配信となっています。
ガバナー事務所のHPで月信の閲覧およびダウンロードをお願いします。

<https://www.rid2670.jp>



記事投稿のお願い

ガバナー月信は、地区ガバナー事務所と会員の皆様との情報共有ツールです。
日頃の奉仕活動等をご下記へお送りください。

宛先



monthly2425@rid2670.jp

締切

毎月15日

物故会員の連絡について

クラブ名、氏名、逝去年月日、年齢と顔写真(画像ファイル名=氏名)をお送りください。

受賞者紹介について

所定のExcelファイルにクラブ名、氏名、受賞種別を入力の上、顔写真(画像ファイル名=氏名)をお送りください。

出席報告について

毎月最終例会後、翌月15日までにガバナー事務所までメールまたはFAXでお送りください。

クラブの行事や活動状況等について

原稿と写真を添付の上メールでお送りください。

Rotary
第2670地区



国際ロータリー第2670地区 ガバナー事務所

E-mail : info2425@rid2670.jp

国際ロータリー第2670地区ガバナー月信編集委員会 地区代表幹事：和泉 清憲 / 担当幹事：塩田 等

〒763-0024 香川県丸亀市塩飽町48-1 丸亀プラザビル5F TEL : 0877-35-8382(080-2553-7208) FAX : 050-3171-2778